

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人 心友会 しいのみ園 ともたかだ				公表日	R7 年 1月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	テーブルやプレイマットを用いてフロアを区分けしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	指定基準を満たした上で安全に留意した人数配置を行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	生活空間は視覚的な目印等で子どもが安心できるよう構造化されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	生活空間は清潔な環境を整えている。活動内容に応じて柔軟にレイアウトを変更し遊びや学びに適した環境を提供している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	個別対応、不安定になった児童に対し、クールダウン部屋、テントを用いて対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	会議より課題を議論実行し、結果どうだったか討論している	日々職員同士で話し合いを行っているが、説明が足りていなかった。今後は話し合いの意味も含め説明を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	保護者向け評価表を定期的に配布し、保護者の意向を把握している	送迎時や面談等で保護者と話し合いを行い、意向の把握、業務改善を行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	月に1回事業所会議を行っている	臨時、児童への支援会議を行った上で見直しを行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	zoomを活用し法人内・外部の研修等に参加している	虐待防止や発作時の対応方法などの研修は毎年行っている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3	事業所会議で定期的に見直しを行っている	活動などは職員同士で話し合いを行ったうえで見直しを行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	保護者面談時、個別支援計画更新時にアセスメントの見直しを行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	会議で各児童の検討会を実施している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	半年に1回更新し、事業所会議にて共有している	個別活動や集団活動を月の活動予定表に掲示している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	標準化されたツールを用いて日々の行動観察を通じて子どもの適応行動を確認し個別支援計画に反映している。	毎日、引続きの時間に話し合いを行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		当日、送迎後に職員同士で話し合い、送迎時にいなかった職員へは翌日に情報共有を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	事業所会議で担当を決め見直しを行っている	毎日ケース記録を取っている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	活動種を増やしたり、こども達の変化に沿ってバリエーションを増やして提供している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	個別活動、集団活動での必要課題を個々に洗い出し放課後等デイサービス計画を作成している	ガイドラインに則って支援は行っているがガイドラインへの説明が足りていなかった。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼時に利用の有無、活動の内容、役割分担等の情報共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	送迎終了後に終礼をおこない、当日のフィードバックを行い情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	ケース記録、ヒヤリハットの記録を行い、事業所会議にて検討改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	半年に1回更新し見直しを行い、随時要望やご本人様に合わせて計画を見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	生活スキルや社会性の向上、個別課題、健康増進の活動を組み合わせ子供の成長に合わせた支援を工夫している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	自己決定が難しいこどもに対しては2つの選択肢に絞り、選択する機会を設けている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5	2	基本的には管理者または児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	カレンダーを配布し、送迎トラブルの防止に努めている。学校の緊急メールにも登録をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	保護者様や相談支援事業所が中心となって情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	当法人の生活介護や就労支援に移行する場合は行っている。他法人の場合は情報を求められたときに情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		コロナの影響で中止している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		コロナの影響で中止している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	内部研修を通じて協議会で議論される課題への対応力を高めている。	コロナの影響で中止している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	送迎時に都度保護者に情報共有を行っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		ペアレントトレーニングは実施していないが保護者より相談があった際には相談に乗って、助言を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に行っているが、その後の変更点は文章でお知らせしている	契約時や変更がある際は説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	利用開始時、面談時、連絡帳や送迎時を通して行っている	送迎時や面談等で保護者と話し合いを行い、適切に支援を行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2	面談時、送迎時に説明を行い同意を得ている	毎年必ず2回以上は実施している。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	面談や連絡帳等を通じて、困っている事や相談事を伺っている。必要に応じて助言、支援をおこなっている	毎年、定期的実施している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	保護者会の設置はない。法人内でのイベントでの交流の場は設けられている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2	苦情を受けた際は、職員間で対応を話し合い、保護者様に報告している。また報告書を作成し、全体への周知を行っている	担当者を決めて、迅速に対応ができるようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	毎月活動カレンダーを配布、行事を行う際には案内文を配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	写真掲載について同意書をもらっている また、鍵の掛かる書庫に保管管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		コロナ感染症対策のため自粛している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	各マニュアル作成し閲覧可能な場所に保管、会時時にマニュアルを周知している	マニュアルについては作成している物の十分に活用されていないため、見直しを行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	年2回避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	面談にて現在服薬しているものや、てんかん発作が起きた時の対応方法を保護者に確認し職員間で周知している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在アレルギー対象となる児童は在籍していない	該当者はいないが緊急時連絡表を毎年更新して、アレルギーや服薬、通院状況の把握を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	年間の研修計画をたて、会議時に実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	安全計画に基づく取組内容を共有し、定期的な連絡や面談を通じて家族と連携しながら子どもの安全確保に取り組んでいる。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	事業所会議にて検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	委員会等で決まったもので統一した対応を周知し対応している	虐待防止などの研修は毎年行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束対象児童は現在いない	該当者はいないが会議を行った上で保護者への同意を得る流れになっている。	